

令和2年度

事業報告書

認定特定非営利活動法人 日本若手精神科医の会

1 事業の成果

令和2年度も、精神医学教育の推進のため、研究会・ワークショップを開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面イベントはほぼ全て中止せざるを得ず、オンライン開催にて代替した。精神医療の啓発活動として精神医療に関する海外の出版物の翻訳・出版や、インターネットを通じた情報提供を行い、成果を得ることが出来た。コロナ禍における活動・運営のあり方について模索し続けた1年であった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【3,155】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
精神医療に関する調査及び研究事業	精神医療に関する意識調査を行う。	通年	国内及び海外の多施設	多数	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	0
精神医療に関する普及啓発事業	国内外の学会において、調査・成果物を公開すると共に、精神医療に関する普及啓発活動を目的とする団体との情報交換及びネットワーク構築を行う。	通年	国内及び海外の学会	多数	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	0
精神医療に関する普及啓発事業	若手精神科医の学術・臨床的発展のための研修会を企画・運営し、その成果物を一般に公開する。	令和3年 2月12日～ 2月13日	オンライン	70名	若手精神科医を含めた医療者、関連する職種、市民など	多数	2,481
精神医療に関する普及啓発事業	臨床疫学研究ワークショップを企画・運営する。	通年	国内及び海外の学会	多数	精神科医など研修参加者	多数	0
精神医療に関する情報提供事業	精神医療に関する書籍の翻訳・出版を行う。	通年	国内の多施設、インターネット上	多数	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	0
精神医療に関する普及啓発活動	若手精神科医の学術、臨床的発展のための研修会 (Regional CADP) を行う。	6月, 1月	オンライン	多数	精神科医及び関心のある市民など不特定	多数	37

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)